

情報公開様式

研究課題名	遺伝性乳癌卵巣癌症候群における日本人固有の <i>BRCA1/2</i> 遺伝子病的バリエーションの同定
研究期間	実施許可日 ～2026年3月31日
研究の対象	2015年4月～2026年3月の間に広島大学病院で BRACAnalysis の検査を受け、臨床的に病原性がうたがわれるものの報告書上で陰性判定となった乳癌・卵巣癌・膵癌・前立腺癌の方
研究の目的・方法	研究目的：遺伝性乳癌卵巣癌症候群（hereditary breast and ovarian cancer syndrome：HBOC）において、日本人に特異的に認められる病的変化（病的バリエーション）を同定することです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構（JOHBOC）のデータベースに情報照会を行い、情報を取得します。同時に国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野において、当該バリエーションの解析を行い、病原性を判定します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：民族、性別、病歴、家族歴、遺伝学的検査に関する情報等
外部への試料・情報の提供	東京医療センターへの情報提供は、個人を識別できないよう加工し、パスワードをかけて PC に保管し、データ解析を行います。臨床情報を記載したデータシートを電子メール添付で送付します。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないよう加工した上で提供します。
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学病院 ゲノム医療センター・遺伝子診療科 教授 檜井孝夫</p> <p>研究代表者 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 山澤 一樹 臨床遺伝センター 医長</p> <p>共同研究機関 高阪 真路 国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野 ユニット長 田村 和朗 桜橋渡辺病院 遺伝子診療センター センター長 植木 有紗 がん研有明病院 臨床遺伝医療部 部長</p>

情報公開様式

	<p>露木 茂 大阪赤十字病院 乳腺外科 主任部長 井口 千景 大阪ブレストクリニック 乳腺外科 医師 鳥井 雅恵 日本赤十字社和歌山医療センター 乳腺外科 副部長 渡邊 法之 大阪国際がんセンター 乳腺・内分泌外科 副部長 右田 王介 聖マリアンナ医科大学病院 遺伝診療部 部長 川野 純子 相良病院 乳腺・甲状腺外科 医長 安田 有理 石巻赤十字病院 遺伝診療課 認定遺伝カウンセラー 田野島 美城 横浜市立大学附属市民総合医療センター 遺伝子診療科 部長 原田 成美 東北大学病院 総合外科（乳腺内分泌外科） 助教</p>
<p>その他</p>	<p>この研究は文科科研費を用いて実施し、開示すべき利益相反はありません。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 ゲノム医療センター・遺伝子診療科 担当者：檜井 孝夫 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5965</p>